

## Budge Tone-101/102/200/201 SIP Phone

### Operation Manual(日本語) V1.02

---



#### I. はじめに

この度は、グランドストリーム ネットワークス社のバジトーン 100/200 シリーズのIP 電話機をお買い求めいただきまして、有難うございます。

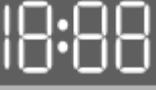
BT-100/200 シリーズのSIP電話機は、2003 年にITC学会のベスト賞を頂いた豊富な機能と素晴らしい音質を兼ね備えたお求め安い価格の革新的なIP電話機です。

BT-100/200 シリーズは、SIP 業界基準と完全に互換性があり、多くの他の SIP 対応することのデバイスと市販のソフトウェアで共同利用できます。

## II. LCD 表示とボタンの説明



### III. LCD 表示の説明

Icon	LCD アイコン表示内容
	<b>ネットワーク ステータス アイコン</b> Flash: リンクフェイラーか電話機がレジストしていない OFF: IP アドレスかSIPサーバが見つからない時 ON : IP アドレスかSIPサーバが見つかった時
	<b>フォン ステータス アイコン</b> OFF: ハンドセット(受話器)がオンフック時 ON: ハンドセットがオフフック時
	<b>スピーカフォン/ヘッドセット ステータス アイコン</b> Flash: フオンが鳴っている時 OFF: スピーカフォン/ヘッドセットがオフの時 ON: スピーカフォン/ヘッドセットがオンの時
	<b>ハンドセットとスピーカフォン/ヘッドセットの音量アイコン</b> 音量が 0-7 段階調節
	<b>リアルタイム時計</b> インターネットタイムサーバと同期しています。 タイムゾーンをウェブブラウザで選択できます。
	<b>通話記録</b> 01 から 10 までの発信(CALLED)電話番号履歴 01 から 10 までの着信(CALLERS)電話番号履歴
	<b>時間アイコン</b> AMは午前 PMは午後
	<b>IPアドレスセパレータアイコン</b>
	<b>数字表示と使用文字</b> 0 - 9 * = L # = J A, b, C, c, d, E, F, G, g, H, h, I, L, n, O, o, P, p, q, r, S, t, U, u, Y

- ◆ 外線使用では電話会社との契約回線数までは同時に使うことができます。
- ◆ 内線に使う場合は制限はなく、4回線とも使用することができます。

## IV. ボタンキーの説明

↓ ↑

アイドル時又はオフフック時、以下の項目で音量や項目選択を行います。

1) 受話器やスピーカフォン／ヘッドセットの音量を調整できます。

2) 電話機の着信音の音量を調整できます。

3) メニューキーを押した後、メニュー項目を探す事ができます。

メニューMENU

電話機がアイドル時、メニューボタンを押すとメニューモードに成ります。

オフフックで、中断やメニューモードから出られます。

発信履歴 CALLED

オフフック後にこのボタンを押すと、発信した番号を表示します。

ナンバーが表示された時、発信キーを押すと発信できます。

着信履歴 CALLERS

オフフックの後にこのボタンを押すと、着信した番号を表示します。

ナンバーが表示された時、発信キーを押すと発信できます。

伝言 MESSAGE

留守番電話メッセージを再生する。

保留 HOLD

保留ボタンです。通話中に押します。

転送 TRANSFER

通話時、他の電話番号にクイック転送します。

会議 CONF

三者間通話します。

フック FLASH

2本のラインの切り替え等に使用します。

消音・クリア MUTE/DEL

通話時に押すとこちらの音が聞こえなくなります。また、着信時に押すと、

着信拒否となります。

発信 SEND

基本は「送信」ボタンです、又何かをセットしたときに押します。

スピーカーSPEKER

スピーカーフォンモードにします。

## V. 使用例

1. **電話をかける** 受話器を上げ番号をダイヤルして、SEND ボタンを押します。
2. **スピーカーフォン** SPEAKER ボタンを押すと受話器を上げずに電話をかけたり、受けることができます。(電話機の本体にマイクとスピーカーが内蔵されています。)
3. **電話を受ける** 2つの方法があります。  
  
受話器を上げる。  
  
SPEAKER ボタンを押す。
4. **保留** 通話時に HOLD ボタンを押すと保留になり、相手に保留音が流れます。
5. **消音** 通話中に MUTE ボタンを押すと消音になり、こちらの音を遮断します。
6. **リダイヤル**
  - ・ダイヤル履歴から選択したい場合  
  
SPEAKER→CALLED→↑ ↓で電話番号を探す→SEND
  - ・直前にかけた電話番号へ電話したい場合  
  
受話器をあげて SEND ボタンを押します。
7. **コールバック** SPEAKER→CALLERS→↑ ↓で電話番号を探す→SEND
8. **転送**

### (ア)クイック転送

直接の会話で、「〇〇さん、▲▲さんからお電話です。」、「こちらにつないでください。」

- ① 通話時に TRANSFER ボタンを押す。相手方に保留音が流れます。
- ② 呼び出したい電話番号を入力する。外線も可能。SEND ボタンを押す。
- ③ 通話相手の電話はコール音が発生し、転送先の電話の着信音が鳴ります。
- ④ 自分の使っていた電話は切れます。

## (イ) 応答転送

全員に呼掛け出来ない、中規模オフィス向けの転送です。

いったん呼び出し先に電話をつなぎ、電話で「〇〇さん、▲▲さんからお電話です。」

「こちらにつないでください。」or 不在の場合

- ① ユーザは、FLASH ボタンを押すとダイヤルトーンが聞こえます。それで、転送先の電話番号を押し、SEND ボタンを押します。
- ② 相手が出たら TRANSFER ボタンを押すと転送され、受話器を下します。
- ③ 外線への転送も可能です。

◆転送先が不在の場合、もしくは転送先が電話に出たくない場合

FLASH ボタンを押すと、つながります。

## 9. コールウェイティング

使用時に他者から電話がかかってきた場合、特殊な音が聞こえます。

このとき、FLASH ボタンを押すと新しい相手とつながり、最初に通話していた相手は保留状態となります。後者を一時的に保留し、再び前者と通話したいときは再び FLASH ボタンを押すとつながります。今度は後者が保留になります。

## 10. 会議電話

3者会議電話です。A と B が話していて、C を参加させたい時。

- ① A が CONF ボタンを押す。B は保留中。
- ② A は C の番号をいれ、SEND ボタンを押す。
- ③ C が出たら、A は再度 CONF ボタンを押す。これで三者会議ができます。
- ④ C が出なかったときは、A は FLASH を押すと B と会話が出来ます。

## IV アスタリスクボタンの機能

アスタリスクボタンとは、\*のボタンです。0のプッシュボタンの左隣にあります。

このボタンを活用することで様々な機能を使うことができます。

### キー キーの効果

\*30 非通知設定にする(効果は継続)

\*31 非通知設定を解除する(効果は継続)

\*67 非通知設定にする(1通話限り)

\*82 非通知設定を解除する(1通話限り)

\*50 キャッチホン機能を可能にする(効果は継続)

\*51 キャッチホン機能を不可にする(効果は継続)

\*70 キャッチホン機能を可能にする(1度通話限り)

\*71 キャッチホン機能を不可にする(1度通話限り)

\*72 無条件で転送する

まず\*72と押します。するとダイヤルトーンが流れます。それから転送先の電話番号を入力し、"SEND"ボタンを押します。すると再びダイヤルトーンが流れますのでこれで設定終了です。電話を切ってください。

\*73 無条件転送を解除する

まず、\*73と押します。するとダイヤルトーンが流れます。これで設定終了です。

\*90 通話中時の転送

まず \* 90とおします。するとダイヤルトーンが流れます。

それから転送先の電話番号を入力し、“SEND”ボタンを押します。すると再びダイヤルトーンが流れますのでこれで設定終了です。電話を切ってください。

#### \*91 通話中時の転送の中止

完全転送を中止することで、\*91 とダイヤルし、ダイヤルトーンが聞こえたのを確認し、受話器を置けばキャンセル完了です。

#### \*92 通話中時の転送

この機能を使うためには、\*92 とダイヤルしダイヤルトーンが流れるのを確認します。

それから転送先の電話番号を入力し、“SEND”ボタンを押します。

再びダイヤルトーンが流れるのを確認して電話を切ります。

#### \*93 通話中時の転送の中止

この機能を使うためには、\*93とダイヤルし、ダイヤルトーンが流れるのを確認します。

そして電話を切って終了です。

お問い合わせ

コアコンピュタンス株式会社

〒554-0024 大阪市此花区島屋4-2-7

島屋ビジネスインキュベータ

Tel:06-6147-3327 Fax:06-6147-3398

メールアドレス:sales@corecomputance.jp

<http://www.corecomputance.jp>